

藤波こども園

令和4年度 園長だより No.6

令和4年11月7日

文責 澤 悦弘



旧 藤波幼稚園



現 藤波こども園

素直な気持ちで楽しむ 藤波の子どもたち

先月に行いました運動会にはたくさんの保護者の方に参観いただき、ありがとうございました。その後、ホームごとに運動会のプログラムを再現したり、遠足などで自然の中で動きながら、周りのお友だちと一緒に活動することの楽しさを味わっていたようです。

お友だちと共に楽しんだ “自分たちで考える運動会”

分散型の運動会でしたが、子どもたちは保護者の方に見ていただきながら同じ年齢のお友だちと一緒に



活動することをたっぷりと楽しんでいる様子でした。運動会を行うことも含め、どんなことをするか、どのようにするかを保育者が子どもたちに問いかけながら進めてきました。子どもたちの一生懸命に考える様子を見ていて、藤波こども園がめざしている「主体性をもった子どもに育てほしい」という願いにしっかりと応えてくれている様子でした。困っているお友だちがいれば声かけをしながらより良い方法を探る優しさもありました。月組の子どもたちは閉会式で一人ずつ運動会の感想を言っ



ていましたが、みんな「楽しかった」と言い、藤波での思い出の1ページを作ったようです。

異年齢のお友だちと楽しむ “ホーム運動会”

運動会は10月1日に終わりましたが、その後、「ホームのお友だちと一緒にやりたい」「休んだお友だち



とも一緒にやりたい」「月組のお兄さんやお姉さんがしていたことを自分たちもやりたい」などの声があり、日替わりでホームごとに“運動会”を行って



ました。星組のバルーンや月組の組み体操などを雪組の乳児も交えて行い、組み体操では「雪組さん、上に乗っていいよ」と月組・星組の子どもたちが土台を作ってくれて

いました。子どもたちが楽しむ姿に誘われ、私もつい変装に熱が入り調子に乗ってしまいました。

閉会式でお渡しした絵本は「みずの 赤ちゃんハウスマンマ」さんからいただきました。



【自然】を楽しむ

“遠足・散歩”



月組の子どもたちは今津運動公園へ、星組と花組の子どもたちは梅の子運動公園へ遠足に出かけました。

久しぶりにみんなで外に出かけられることもあって、前日からドキドキ・ワクワクの様子でした。園やそれぞれのお家も自然環境に恵まれています。出かけた先でも芝生の上を転がったり、木の実を拾ったりしながら【自然】を肌で感じて満喫している様子でした。

子どもたちの“発見”には意外なこともあります。排水溝の奥からお友だちの声が聞こえることに興味をもち、地下でつながっている排水路の入り口を見つけ、「ヤッホー」「聞こえるよー」などと叫んで楽しんでいました。



雪組、桃組の子どもたちは、天気の良い日には園の周辺での散歩を楽しんでいます。



雪組の子どもたちは園の西側の田んぼを歩きながら生き物を見つけたり、工事中のクレーン車を見て楽しんでいました。

桃組の子どもたちは青柳小学校の近辺まで連れて行ってもらい、ドングリの実を拾って保育者に得意そうに見せながら楽しんでいました。

子どもたちが素直に楽しむ姿を見ると、みんなで活動できる場面をいっぱい作って、たくさんの経験をさせてあげたいな—という気持ちになります。



横断歩道のわたり方

学んでいます

花組の子どもたちが、紙芝居と遊戯場に作った横断歩道で、安全な横断歩道の渡り方を学びました。子どもたちは信号の意味について「青はすすむ」「黄色は注意」「赤は止まる」ということを既に知っていて、安全に横断歩道を渡れるよう、練習しました。保護者の方とお出かけの際には、このことを思い出させていただければと思います。



PTA奉仕作業

ありがとうございました



10月22日(土)にはたくさんの保護者の方にお越しいただき、園内をきれいにさせていただきました。本来なら私たち職員でなくてはならないのですが、時間的に厳しく、6月に引き続いて保護者のみなさまにお願いしました。普段の掃除ではなかなか手が回らないところなど、隅々まできれいにさせていただき、ありがとうございました。

共同募金にご協力お願いします

9月にお渡ししました募金箱を園に届けてくださっています。この募金は、地域の福祉活動に役立てられます。お家にもっておられる方がありましたら、園までお届けください。

